

住商アグリビジネス通信

2015年春季号



農業小話 「江戸っ子と促成栽培」

今では日本全国で行われている促成栽培ですが、その発祥は江戸時代にまで遡ります。中田新田（現在の東京都江東区あたり）に住んでいた松本久四郎という農家は、江戸からでた生ごみを集めて発酵させ、その熱を利用して野菜の促成栽培を行いました。この時に、温かい床土という意味から「温床」という言葉が生まれます。季節を先取りした野菜は、初物好きの江戸っ子に飛ぶように売れたと伝えられています。後に日本全国に広まったこの方法は、昭和の時代まで続けられ、次第にビニールハウスや暖房利用へと変化し現在に至ります。

注)左図は歌川広重の「六十余州名所図会」 国立国会図書館デジタルコレクションより転載

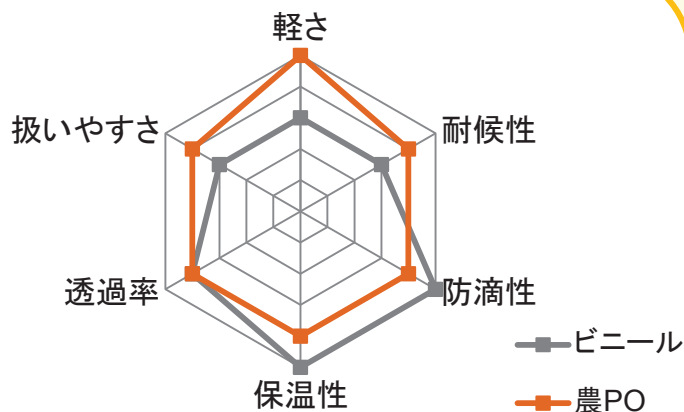
ハウス資材のご案内

当社では肥料・農薬以外にもマルチやハウス資材も取り扱っております。その中でも、特に問合せが多くなってきているのがハウスで使用される農業用ポリオレフィン（農PO）フィルムです。今回は農POフィルムの特徴についてご案内します。



農POフィルムの特徴

- ① 軽い（一般的な農業用ビニールの約6割の重さ）
- ② べたつきが少なく、扱いやすい
- ③ ゴミが付着しにくく、透過率を維持できる
- ④ 低温、強風に強く変性しにくい
- ⑤ 破れても広がりにくい（複層構造）
- ⑥ バンドレスで展張可能



バンドをきっちり張るため、
手間のかかった従来の方法も...



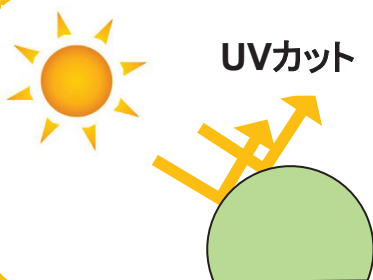
農POなら、設営作業を簡易化し、
ハウス内を更に明るくできます。

特殊機能フィルムのご紹介

農POフィルムには**UVカット機能**を追加したものや、**遮熱・遮光**の機能をもつもの等特殊なタイプもあります。



一般的なハウス用フィルムは、保温性や防塵性を確保しますが、栽培作物や季節にあわせた細かな調整をするには不向きです。下記のような特殊機能をもった農POフィルムを適切に扱うことで、品質や生産性の向上に役立ちます。

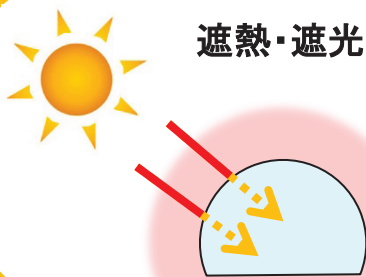


UVカット

UVカットにより、**害虫抑制効果**が期待できます。

波長380nm以下の近紫外線がカットされた条件では、昆虫は地物判別や方位認識の基準となる紫外線を検知できず、行動が抑制されるからです。

また、農薬散布回数が少なくなるため、低農薬栽培も可能になり、コスト削減にも寄与します。また、ハウス内資材の劣化を防ぐ効果もあります。



遮熱・遮光

夏場も室内を涼しく保てるため、温度上昇による**作物の生育悪化を防ぐ**と同時に、**快適な作業環境を維持**します。明るさをある程度確保できるため、キノコ栽培や畜舎、作業所での使用にも適しています。

遮光タイプは、熱だけでなく光もシャットアウトしますので、花きの遮光栽培や倉庫にもお使い頂けます。

それぞれのフィルムの効果はメーカー・商品によって異なります。UVカット率や遮光率など、事前にご確認・ご相談ください。

劣化前に交換を！

フィルムが劣化すると、耐久性はもちろん、保温性、流滴性、防塵性などが失われ、意図せず作物の生育を阻害してしまったり、一部が破れて害虫の侵入を許してしまうことにも繋がるおそれがあります。ビニール・ポリエステル・ポリオレフィンと材質は様々ありますので、耐用年数と取扱方法にご注意ください。当社ではご購入の際にしっかりとご説明致します。

トマト・なすやきゅうり等のハウス栽培農家のお客様、甘しょ・キャベツ等の育苗ハウスをお持ちの農家のお客様、当社取り扱いの農POフィルムが作物の健全な生育をお手伝い致します。張り替えをお考えの際は下記営業所または担当営業員までお問い合わせください！



住商アグリビジネス株式会社

当社は2014年6月、土壌分析施設としては九州で初めて**濃度計量証明事業所**に登録されました。窒素・リン酸・カリに加えて石灰や苦土など、全ての分析項目の**数値**を基に土壌改良のサポートをさせていただきます。お近くの営業所へお問い合わせ下さい！

- ◇都城営業所
都城市志比田町5897-1 TEL0986-25-9036
- ◇溝辺営業所
霧島市隼人町内字後村中2112 TEL0995-43-2738
- ◇鹿屋営業所
鹿屋市東原町2888 TEL0994-44-4457